

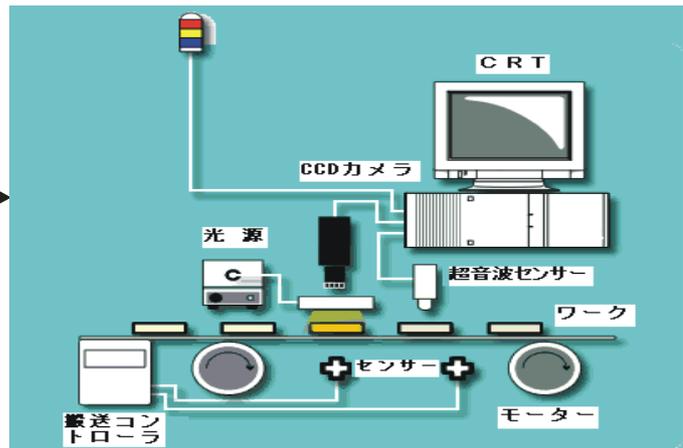
センサーで小さなキズを自動検出

人間による製品検査では、個人差などのばらつきが生じ易いため、検査精度の向上と自動化が求められています。



人手で目視検査

画像処理技術によりガラス等のキズを自動的に検出する技術の開発をしています。



画像処理装置の開発により
自動化を目指す



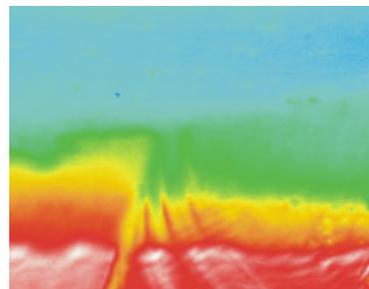
CCDカメラによる画像入力



入力画像



画像処理
プログラム開発



出力結果
（濃淡で判定可能）

キズの形状、大きさ、位置の統計的な処理が可能となり、品質の向上が図れます。

用途：画像処理メーカー（ガラス等の透明物の評価）

センサー利用微細欠陥自動検出技術開発研究

担当者：愛媛県工業技術センター 主任研究員 重松 博之